2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	東邦アセチレン株式会社		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	4093	URL https://www.toho-ace.co.jp/	
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）堀内　秀敏	
問合せ先責任者	（役職名）取締役常務執行役員 管理本部長	（氏名）佐古　慶治	(TEL) 022-385-7692
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年12月14日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	16,744	4.8	755	11.3	841	7.1	487	10.8
2026年３月期中間期	15,980	△2.0	678	△27.1	785	△27.1	440	△29.2

(注) 包括利益　　2027年３月期中間期　　516百万円（ 8.7%）　　2026年３月期中間期　474百万円（ △30.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	14.02	―
2026年３月期中間期	12.65	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	33,765	21,508	57.3
2026年３月期	33,962	21,318	56.4

(参考) 自己資本　　2027年３月期中間期　　19,332百万円　　2026年３月期　　19,142百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	5.00	―	9.00	14.00
2027年３月期	―	5.00			
2027年３月期(予想)			―	9.00	14.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	1.2	1,900	△0.0	2,000	△5.2	1,200	△6.8	34.49

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	35,020,000株	2026年３月期	35,020,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	207,770株	2026年３月期	224,070株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	34,800,588株	2026年３月期中間期	34,782,471株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は2026年11月12日に当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3

２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書
中間連結会計期間 …… 6
中間連結包括利益計算書
中間連結会計期間 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得水準が改善する中で、経済活動は緩やかな回復基調となりました。一方で、国際情勢の不安定化に加え、恒常的な物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当中間連結会計期間の売上高は167億44百万円と前中間連結会計期間に比べ７億64百万円（4.8%）の増加、営業利益は７億55百万円と前中間連結会計期間に比べ76百万円（11.3%）の増加、経常利益は８億41百万円と前中間連結会計期間に比べ56百万円（7.1%）の増加、親会社株主に帰属する中間純利益は４億87百万円と前中間連結会計期間に比べ47百万円（10.8%）の増加となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、従来「エスプーマ関連事業」としていた報告セグメントの名称を「フードプロダクツ関連事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、98億91百万円と前中間連結会計期間に比べ８億28百万円（9.1%）増加、営業利益は７億93百万円と前中間連結会計期間に比べ１億７百万円（15.8%）増加しました。

ガス関連事業の状況といたしましては、窒素は工業用及び半導体関連向け、水素は石英加工向け、アルゴンは自動車関連向けの出荷数量が増加、液化石油ガスは出荷数量は減少しましたが輸入価格の変動に伴い販売価格が上昇したことから売上高は増加しました。

営業利益は、人件費の増加等に伴い販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上高の増加に伴い増加しました。

フードプロダクツ関連事業

フードプロダクツ関連事業の売上高は、８億97百万円と前中間連結会計期間に比べ29百万円（3.2%）減少、営業利益は２億48百万円と前中間連結会計期間に比べ26百万円（9.5%）減少しました。

フードプロダクツ関連事業の状況といたしましては、食品関連器材の需要が減少したことにより売上高は減少しました。

営業利益は、売上高減少に加え、人件費の増加等に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより減少しました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、46億97百万円と前中間連結会計期間に比べ２億23百万円（5.0%）増加、営業利益は１億31百万円と前中間連結会計期間に比べ26百万円（25.5%）増加しました。

器具器材関連事業の状況といたしましては、溶接材料は自動車関連向けの需要が増加、溶接切断器具は大型機械の受注が増加したことにより売上高は増加しました。

営業利益は、人件費の増加等に伴い販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上高の増加に伴い増加しました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、２億18百万円と前中間連結会計期間に比べ４億45百万円（67.1%）減少、営業利益は前中間連結会計期間に比べ46百万円減少し、23百万円の営業損失（前中間連結会計期間は23百万円の営業利益）となりました。

自動車機器関連事業の状況といたしましては、自動車部品メーカーの設備投資需要が減少したことにより売上高が減少し、営業損失となりました。

製氷機関連事業

製氷機関連事業の売上高は、８億74百万円と前中間連結会計期間に比べ１億50百万円（20.9%）増加、営業利益は１億51百万円と前中間連結会計期間に比べ９百万円（6.6%）増加しました。

製氷機関連事業の状況といたしましては、メンテナンス工事は減少しましたが、製氷・冷凍機械の大型物件の増加及び作業が進捗したことにより売上高及び営業利益は増加しました。

その他

その他の売上高は、１億64百万円と前中間連結会計期間に比べ35百万円（27.7%）増加、営業利益は31百万円と前中間連結会計期間に比べ７百万円（31.8%）増加しました。

その他の状況といたしましては、医療機器の販売が増加したことにより、売上高及び営業利益は増加しました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、337億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億97百万円の減少となりました。この主な要因は、フードプロダクツ関連事業における食品添加用ガス充填工場の新設等により有形固定資産その他に含まれる建設仮勘定が増加（２億41百万円）しましたが、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要期の売上債権を回収したことで売上債権等が減少（４億97百万円）したことによるものであります。

負債は、122億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億86百万円の減少となりました。この主な要因は、短期借入金が増加（１億10百万円）しましたが、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要期の仕入債務を支払ったことで仕入債務が減少（４億42百万円）したことによるものであります。

純資産は、215億８百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億89百万円の増加となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少（３億13百万円）がありましたが、親会社株主に帰属する中間純利益を計上（４億87百万円）したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、93億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億23百万円（1.3%）の減少となりました。

営業活動で得られた資金は９億19百万円、投資活動で使用した資金は７億２百万円、財務活動で使用した資金は３億39百万円となり、現金及び現金同等物は減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権等の回収額が減少したものの、税金等調整前中間純利益の増加及び未払消費税等が増加したこと等により、前中間連結会計期間に比べ１億81百万円（24.6%）増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が減少したこと等により、前中間連結会計期間に比べ６億９百万円（46.5%）支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済による支出が増加したこと等により、前中間連結会計期間に比べ３百万円（1.1%）支出が増加しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期の業績予想につきましては、2026年５月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,443,844	9,620,733
受取手形、売掛金及び契約資産	5,131,677	4,642,711
電子記録債権	2,376,176	2,367,644
有価証券	198,700	356,964
商品及び製品	1,267,650	1,290,908
仕掛品	24,111	27,289
原材料及び貯蔵品	144,894	154,742
その他	385,234	365,354
貸倒引当金	△9,681	△9,106
流動資産合計	18,962,609	18,817,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,813,311	3,720,291
機械装置及び運搬具（純額）	1,549,143	1,462,593
土地	5,461,178	5,461,178
その他（純額）	805,017	1,073,454
有形固定資産合計	11,628,651	11,717,518
無形固定資産	116,177	110,471
投資その他の資産		
投資有価証券	2,228,325	2,091,459
その他	1,058,626	1,059,386
貸倒引当金	△32,110	△30,879
投資その他の資産合計	3,254,840	3,119,967
固定資産合計	14,999,668	14,947,956
資産合計	33,962,277	33,765,199
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,188,412	3,609,482
電子記録債務	1,009,227	1,145,457
短期借入金	3,170,000	3,280,000
1年内返済予定の長期借入金	65,996	29,996
未払法人税等	403,344	369,544
賞与引当金	425,997	417,727
役員賞与引当金	19,925	—
その他	980,380	1,082,492
流動負債合計	10,263,283	9,934,700
固定負債		
長期借入金	20,012	15,014
役員退職慰労引当金	419,231	362,131
退職給付に係る負債	1,460,704	1,477,396
資産除去債務	46,096	46,169
その他	434,008	420,931
固定負債合計	2,380,053	2,321,641
負債合計	12,643,337	12,256,342

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	1,123,399	1,125,606
利益剰余金	15,727,958	15,902,151
自己株式	△55,646	△50,957
株主資本合計	19,056,712	19,237,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,130	94,648
その他の包括利益累計額合計	86,130	94,648
非支配株主持分	2,176,097	2,176,408
純資産合計	21,318,940	21,508,857
負債純資産合計	33,962,277	33,765,199

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	15,980,372	16,744,768
売上原価	10,654,966	11,263,421
売上総利益	5,325,405	5,481,346
販売費及び一般管理費	4,646,803	4,725,925
営業利益	678,602	755,421
営業外収益		
受取利息	5,069	8,882
受取配当金	9,716	11,936
持分法による投資利益	6,251	6,703
受取賃貸料	58,023	59,237
その他	85,545	57,526
営業外収益合計	164,605	144,287
営業外費用		
支払利息	27,272	35,829
賃貸費用	20,295	20,314
その他	10,142	1,917
営業外費用合計	57,711	58,061
経常利益	785,496	841,646
特別利益		
固定資産売却益	6,551	2,633
特別利益合計	6,551	2,633
特別損失		
固定資産除売却損	35,952	8,058
特別損失合計	35,952	8,058
税金等調整前中間純利益	756,095	836,221
法人税等	290,939	329,597
中間純利益	465,155	506,624
非支配株主に帰属する中間純利益	25,072	18,865
親会社株主に帰属する中間純利益	440,082	487,758

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	465,155	506,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,886	13,633
持分法適用会社に対する持分相当額	5,817	△4,163
その他の包括利益合計	9,704	9,470
中間包括利益	474,859	516,094
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	450,710	496,276
非支配株主に係る中間包括利益	24,149	19,817

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	756,095	836,221
減価償却費	351,734	385,476
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5,476	△1,806
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,190	△8,270
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△28,045	△19,925
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△27,439	△57,100
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	28,128	16,692
受取利息及び受取配当金	△14,786	△20,818
支払利息	27,272	35,829
持分法による投資損益（△は益）	△6,251	△6,703
固定資産売却益	△6,551	△2,633
固定資産除売却損	35,952	8,058
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	662,384	497,497
棚卸資産の増減額（△は増加）	43,116	△36,283
仕入債務の増減額（△は減少）	△475,831	△442,699
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44,211	58,326
その他	△209,866	64,280
小計	1,100,367	1,306,141
利息及び配当金の受取額	19,689	26,195
利息の支払額	△27,370	△36,863
法人税等の支払額	△355,207	△376,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	737,479	919,073

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	―	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△1,187,774	△396,043
有形固定資産の売却による収入	22,187	3,848
無形固定資産の取得による支出	△44,280	△6,721
有価証券の償還による収入	―	100,000
投資有価証券の取得による支出	△103,371	△101,713
貸付けによる支出	△1,200	―
貸付金の回収による収入	575	665
保険積立金の積立による支出	△2,829	△2,730
保険積立金の解約による収入	3,760	―
その他	811	264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,312,120	△702,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	115,000	110,000
短期借入金の返済による支出	△5,000	―
長期借入金の返済による支出	△40,998	△40,998
リース債務の返済による支出	△69,237	△76,472
自己株式の取得による支出	△19	―
配当金の支払額	△312,569	△312,267
非支配株主への配当金の支払額	△23,340	△20,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△336,165	△339,753
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△910,806	△123,110
現金及び現金同等物の期首残高	9,495,192	9,443,844
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,584,386	9,320,733

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	ガス関連事業	フードプロダクツ関連事業	器具器材関連事業	自動車機器関連事業	製氷機関連事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	9,062,850	926,550	4,473,848	664,232	723,897	15,851,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	9,062,850	926,550	4,473,848	664,232	723,897	15,851,378
セグメント利益	685,104	274,380	105,061	23,125	142,206	1,229,878

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
外部顧客への売上高	128,993	15,980,372	―	15,980,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	128,993	15,980,372	―	15,980,372
セグメント利益	24,156	1,254,034	△575,432	678,602

（注）　１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△575,432千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	ガス関連事業	フードプロダクツ関連事業	器具器材関連事業	自動車機器関連事業	製氷機関連事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	9,891,792	897,077	4,697,509	218,847	874,850	16,580,077
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	9,891,792	897,077	4,697,509	218,847	874,850	16,580,077
セグメント利益又は損失（△）	793,089	248,296	131,840	△23,512	151,659	1,301,373

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
外部顧客への売上高	164,691	16,744,768	―	16,744,768
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	164,691	16,744,768	―	16,744,768
セグメント利益又は損失（△）	31,842	1,333,216	△577,795	755,421

（注）　１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。
　　２　セグメント利益又は損失(△)の調整額△577,795千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
　　３　セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、従来「エスプーマ関連事業」としていた報告セグメントの名称を「フードプロダクツ関連事業」に変更しております。当該変更はセグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。